

1. 日米株式と円/ドルの推移

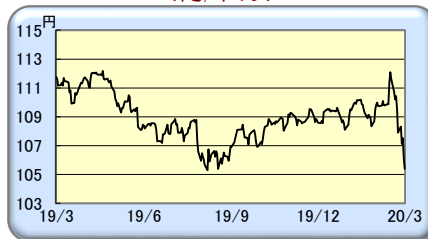
<日本株(日経平均)>



<米国株(NYダウ)>



<円/ドル>



(注)チャートは過去1年

	単位	2019/12/31	2020/2/28	2020/3/6	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	23,656.62	21,142.96	20,749.75	24,448.07	2018/10/2	18,224.68	2017/4/17
NYダウ	ドル	28,538.44	25,409.36	25,864.78	29,568.57	2020/2/12	20,379.55	2017/4/19
円/ドル	円	108.61	107.89	105.39	115.51	2017/3/10	104.46	2019/8/26

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景とする景気の先行き不透明感や円高進行を受けて、下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲393.21円(▲1.86%)、TOPIXが▲39.41ポイント(▲2.61%)となり、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景とする景気の先行き不透明感や円高進行を受けて、下落しました。業種別(東証33業種)でみると、精密機器、その他製品などの4業種が上昇する一方、鉄鋼、保険業、銀行業などの29業種が下落しました。週初は、先々週末にFRB(米連邦準備理事会)が議長声明を公表したことに続き、日銀も総裁談話を公表したことから、日米協調金融緩和への期待が高まり上昇して始まりました。しかしその後は、①G7財務相・中銀総裁緊急電話会議において具体的な政策対応が示されなかったこと、②FRBが3日に緊急利下げを実施したことを受け円高が進行したことなどから、軟調に推移しました。5日は、米大統領選の民主党予備選挙においてサンダース氏が候補者に選ばれる可能性が低下したことなどから、前日の米国株が大きく上昇したことを好感し反発しました。しかし週末6日は、①米国において新型コロナウイルスの感染拡大がみられること、②日本政府が9日以降中国と韓国からの入国制限を決定したことなどから、大幅に下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
3月9日	Mon	日本	景気ウォッチャー調査現状	2月	41.9
			景気ウォッチャー調査先行き	2月	41.8
3月10日	Tue	ドイツ	鉱工業生産(前月比)	1月	▲3.5%
		中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	2月	+5.4%
3月11日	Wed	米国	大統領選・予備選挙・党員集会集中日(アイダホ州、ミシガン州、ミシシッピ州等)		
3月12日	Thu	米国	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	2月	+2.3%
3月12日	Thu	欧州	ECB(欧州中央銀行)政策理事会		
		欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	1月	▲2.1%
3月13日	Fri	米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	3月	101.0

決算発表予定 他	日本	決算発表 : 3/12 神戸物産
	海外	決算発表 : 3/11 アディダス、プルデンシャル 3/12 アビ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～世界的な新型コロナウイルス感染者拡大を背景にリスク回避の動きが続く中、軟調な展開～

今週の日本株市場は、新型コロナウイルス感染者の拡大が止まらず、NY州では非常事態宣言、イタリアではミラノやヴェネチアなど北部地域から別の地域への移動制限、日本では中国や韓国からの入国制限など世界各国で感染拡大阻止に向けた緊急対策が打ち出される中、世界的に新型コロナウイルス感染者拡大ペースの鈍化が確認されない間は、リスク回避の動きが続き、軟調な展開を予想します。但し、①既に感染者の半分以上が回復していること、②来週のFOMC(米連邦公開市場委員会)では追加利下げが見込まれ、日銀もETF(指数連動型上場投資信託受益権)の1回当たり購入額を従来の700億円程度から1,000億円程度に拡大するなど主要各国の中央銀行が株価を積極的にサポートする姿勢をみせていること、③バリュエーションやテクニカル面で過度に売られ過ぎの水準にあることなどから、各国政府の対応等を受けて感染者拡大ペースが鈍化すれば、株価も底入れする可能性が高いとみられています。その他の注目材料として、日本では9日の景気ウォッチャー調査、米国では11日のCPIや13日のミシガン大学消費者信頼感指数、欧州では12日のユーロ圏鉱工業生産、ドイツでは9日の鉱工業生産などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会